

今後の取組の方向性について

令和5年度以降の社会実験については、引き続き、当協議会で協議し、実施していくこととする。

令和6年度の実施に向けては、健康課題を抱える自治体と、ヘルスケア関連企業とのマッチングを図る、国主催のイベントである下記のガバメントピッチに、協議会として今年度に応募することとしたい。

1 ガバメントピッチへの応募について

(1) ガバメントピッチの概要

自治体が健康増進・介護予防・疾病予防・生活支援等ヘルスケア分野に関する地域課題を発表し、各課題の解決に向けて協働できる企業から、ソリューション（解決策）の提案を募集することで、マッチングを図るイベント。

自治体が抱える地域課題と、ヘルスケアベンチャー等によるデジタル技術を結びつけることにより、地域課題の解決とヘルスケア産業の振興の両立を目指す。



【令和5年度ガバメントピッチ応募概要】

応募期間 令和5年12月（予定）

開催日 年度末（予定） ※ その他の詳細については、まだ公表されていない。

(2) 募集対象

健康福祉分野において、地域課題・ニーズ（実現したい未来に向けて、ヘルスケアベンチャー等とともに挑戦したい事項、解決したい課題）を持ち、実証事業等の連携プロジェクトを組成する意欲を持つ自治体

2 応募に向けたテーマの抽出について

ガバメントピッチで提案する健康課題・テーマの分野としては、主に以下の(1)～(5)の項目(※)が案として考えられる。

あわせて、参考までに、昨年度に9市町村で実施した、健康づくりに関するアンケート調査結果から見た、県央地域の課題を記載している。

※ 国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本方針である、「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次）」において、個人の行動と健康状態の改善に関するものとして挙げられている主な項目。

【健康課題・テーマ（アンケート結果からの考察）】

(1) 栄養・食生活

食事において実践している取組として、「野菜を多く食べる」、「朝昼晩と3回規則正しく食べる」という回答は多い一方、「油分を控える」、「糖分を控える」という回答は少なく、意識に差がある。

(2) 身体活動・運動

自分の健康に関心があると回答した割合は9割を超え、なかでも「身体活動・運動」に関心があるという回答が最も多いが、普段健康のために運動している割合は5割以下であり、健康への関心が実際の行動に結びついていないと言いきく。

また、具体的な運動の取組として、ウォーキングや体操など、比較的激しくないものを実施している人が多かった。

(3) 休養・睡眠

約43%の人が十分に睡眠を取れていないと感じており、注視すべき結果であった。

(4) 歯・口腔の健康

歯の健康のために行っていることとして、約8割の方が「歯みがきをする」と回答しているが、「糸付きようじや歯間ブラシを使っている」、「歯科検診（歯石除去）を受けている」という回答は4割程度と少なくなっている。

(5) 生活習慣病の発症予防・重症化予防

茨城県における特定健診やがん検診の受診率は、高いとは言えない状態が続いているところだが、アンケート結果によると、健診を受けない理由については、「忙しくて時間がない」、「面倒くさい」といった回答が多く見られるため、意識の変容によっては大きく改善する余地があると思われる。

3 応募への手続等

本日の協議会及び「意見書」による御意見を集約・整理したうえで提案書を作成し、関東経済産業局へ提出していく。

※ 参考データ

(1) 平均寿命と健康寿命に関する状況

県央地域における平均寿命は、茨城県とほぼ同等であるが、国に比べやや低い傾向にある。

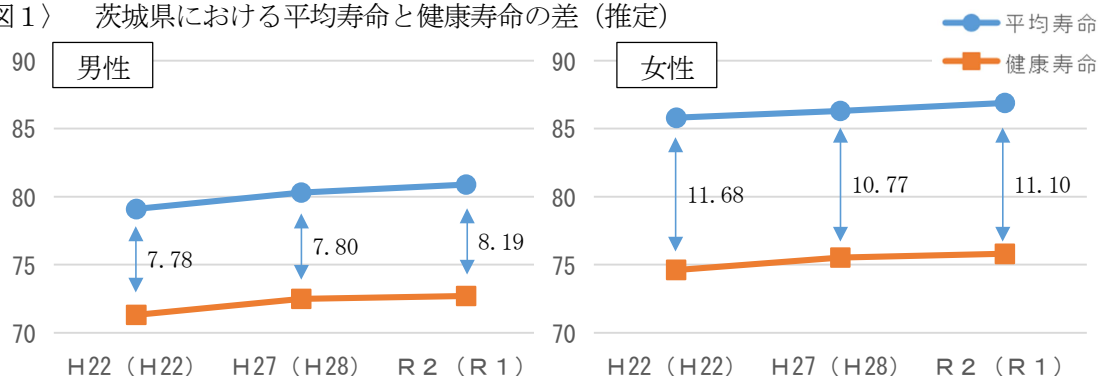
なお、参考として、茨城県における健康寿命と平均寿命の差（不健康な期間）については、特に女性は10歳以上と長く、注視すべき点であると思われる。

〈表1〉 県央地域における平均寿命 (単位：歳)

年・性別 市町村	H22年		H27年		R2年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
国	79.6	86.4	80.8	87.0	81.5	87.6
茨城県	79.1	85.8	80.3	86.3	80.9	86.9
水戸市	79.4	86.6	80.6	87.1	81.0	87.1
笠間市	78.8	85.5	80.3	86.3	80.4	86.7
ひたちなか市	79.5	85.7	81.2	86.4	81.7	87.4
那珂市	80.2	86.8	80.7	86.6	81.3	87.5
小美玉市	79.2	85.4	79.5	85.8	80.1	86.7
茨城町	79.6	85.3	80.5	86.3	80.5	86.7
大洗町	78.1	85.4	79.9	86.3	80.6	86.8
城里町	79.2	85.7	80.1	86.3	80.4	86.9
東海村	79.7	85.9	80.5	86.5	81.5	86.9
平均 (県央のみ)	79.3	85.8	80.4	86.4	80.8	87.0

出典：厚生労働省 市区町村別生命表

〈図1〉 茨城県における平均寿命と健康寿命の差 (推定)



出典：厚生労働省 市区町村別生命表

厚生労働科学研究 都道府県別健康寿命

【※ 平均寿命と健康寿命の差の算出について】

今回、平均寿命と健康寿命の差を算出するにあたり、出典の資料を参考にしたが、一部同じ年代でのデータがなかったため、比較的近い年代での比較をした。

そのため、表6において、平均寿命の年代は括弧をつけず、健康寿命の年代は括弧をつけて表現した。

例：H27 (H28)・・・平均寿命は平成27年の、健康寿命は平成28年のデータを基にグラフ化

(2) 標準化死亡比（※1）の状況

選択死因（※2）別の標準化死亡比について、そのなかで有意に高い（※3）とされるものを見たとき、男性は急性心筋梗塞、脳内出血、脳梗塞、肺炎の死亡率が全国に比べ高く、女性は急性心筋梗塞、肺炎、脳梗塞の死亡率が全国に比べ高いと言える。

※1 標準化死亡比：人口構成の影響（高齢化率など）を除外した場合に、死亡率が「全国」の何倍であるかを意味する数値。1.0が全国を表し、これより高ければ、死亡率が全国よりも高い可能性がある。

※2 選択死因：社会的に関心の強い死因について、死因簡単分類表から選択した34の死因。

※3 有意に高い：95%信頼区間が1.0を超えており、「間違いなく高い」といえるもの。

〈表2〉 県央地域における標準化死亡比が「有意に高い」もののうち上位3位の死因
(有意に高い市町村に○)

性別・死因 市町村	男性				女性		
	急性心筋梗塞	脳内出血	脳梗塞	肺炎	急性心筋梗塞	肺炎	脳梗塞
水戸市	○	○		○	○	○	
笠間市	○		○	○	○	○	○
ひたちなか市	○				○		○
那珂市	○	○			○	○	
小美玉市	○	○	○	○	○	○	○
茨城町		○	○		○		○
大洗町	○			○	○	○	
城里町	○		○		○		
東海村					○	○	
計	7市町村	4市町村	4市町村	4市町村	9市町村	6市町村	4市町村

出典：令和5年茨城県市町村別健康指標

〈表3〉 茨城県における標準化死亡比が「有意に高い」もののうち上位5位の死因

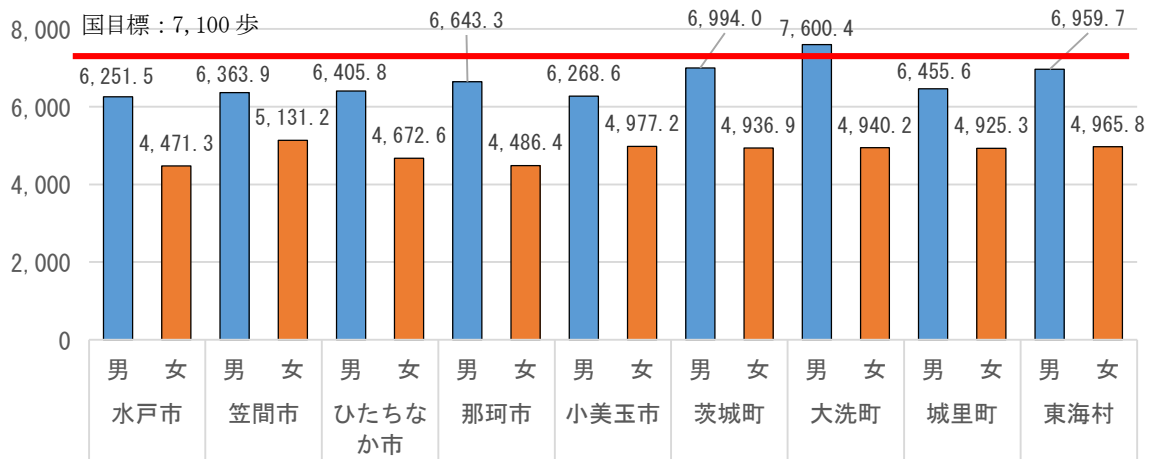
男性		女性	
順位	死因	順位	死因
1位 (24市町村)	急性心筋梗塞	1位 (27市町村)	肺炎
2位 (20市町村)	肺炎	2位 (25市町村)	急性心筋梗塞
3位 (16市町村)	脳梗塞	3位 (18市町村)	老衰
4位 (14市町村)	老衰	4位 (13市町村)	脳梗塞
5位 (10市町村) ※同率	糖尿病、脳内出血	5位 (10市町村)	心不全

出典：令和5年茨城県市町村別健康指標

(3) 歩数に関する状況

県央地域全体において、男性に比べ女性の歩数が少ないが、どちらにおいても、ほとんどの市町村で健康日本 21（第3次）において国が目標としている 7,100 歩という数値には達していない。

〈図2〉 県央地域における 1 日あたりの歩数 (単位：歩)



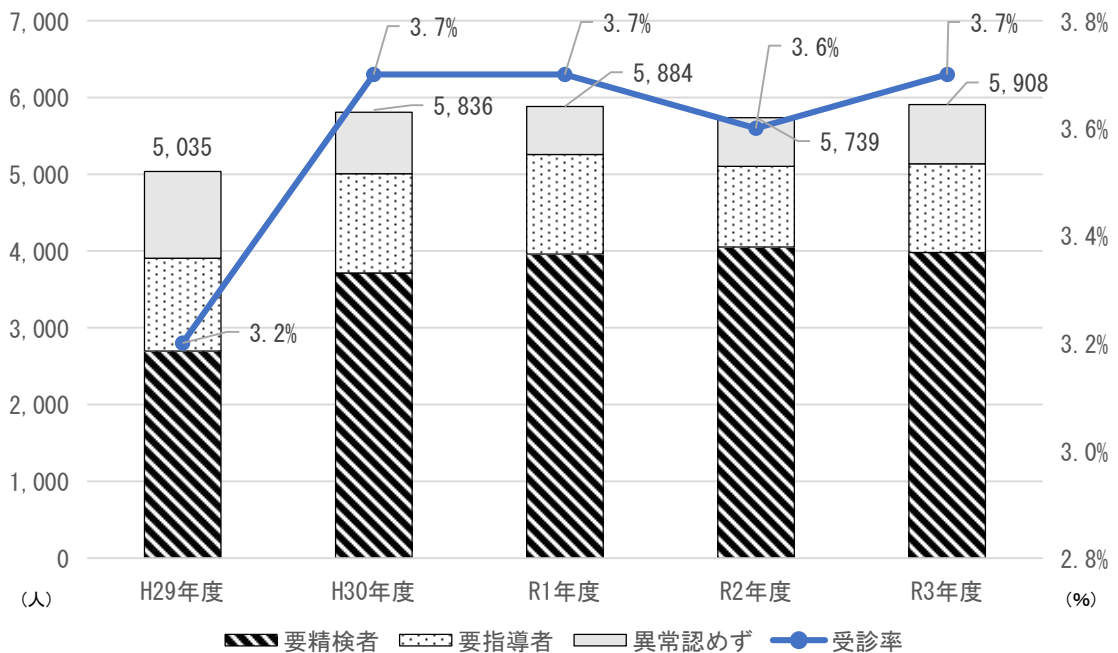
出典：茨城県保健医療部健康推進課 令和4年度健康づくり事業（「げんきアップ！りいばらき」）に係る統計データ

(4) 歯周疾患検診受診状況

茨城県において、歯周疾患検診の受診率はかなり低いと推定される。

また、受診した方うち、平成 29 年度は 8 割弱が、それ以外は 9 割弱が、要精検又は要指導の対象となっている。

〈図3〉 茨城県における歯周疾患検診受診者数及び受診率（40 歳，50 歳，60 歳，70 歳）



出典：厚生労働省 地域保健・健康増進事業報告

総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数

(5) がん検診受診率に関する状況

県央地域において、乳がん検診と子宮頸がん検診の受診率が、茨城県と比べ、やや低い傾向にある。それ以外については、ほぼ同程度である。

市町村によって数値にばらつきが見えるが、乳がん検診と子宮頸がん検診については、茨城県の受診率を下回っている市町村の数が多。

(表4) 種類別がん検診受診率(国民健康保険)

○肺がん(胸部X線)(40~69歳)

市町村名	R 1年度	R 2年度	R 3年度
茨城県	22.7%	13.5%	18.4%
水戸市	17.2%	10.4%	12.0%
笠間市	27.3%	13.1%	23.6%
ひたちなか市	19.3%	13.2%	16.8%
那珂市	25.2%	13.1%	18.3%
小美玉市	27.7%	20.2%	23.1%
茨城町	31.7%	20.0%	27.3%
大洗町	31.2%	20.1%	25.4%
城里町	43.0%	30.9%	34.9%
東海村	26.3%	21.5%	26.9%
計(県央のみ)	22.8%	14.3%	18.3%

○胃がん(胃部X線及び内視鏡)(50~69歳)

市町村名	R 1年度	R 2年度	R 3年度
茨城県	11.3%	9.9%	8.9%
水戸市	7.9%	6.9%	5.7%
笠間市	8.3%	8.1%	6.7%
ひたちなか市	11.5%	11.5%	10.5%
那珂市	14.9%	12.5%	10.8%
小美玉市	13.0%	13.1%	12.6%
茨城町	14.4%	12.0%	11.9%
大洗町	13.3%	11.7%	9.6%
城里町	15.3%	15.5%	13.4%
東海村	23.3%	22.6%	19.7%
計(県央のみ)	11.1%	10.2%	8.9%

○大腸がん(便潜血検査)(40~69歳)

市町村名	R 1年度	R 2年度	R 3年度
茨城県	15.6%	11.2%	14.7%
水戸市	12.8%	8.6%	10.2%
笠間市	14.0%	9.4%	16.1%
ひたちなか市	15.1%	12.0%	14.2%
那珂市	21.4%	12.5%	16.8%
小美玉市	17.8%	13.8%	16.2%
茨城町	19.1%	14.1%	19.0%
大洗町	17.1%	12.0%	19.1%
城里町	21.4%	22.6%	23.0%
東海村	22.8%	21.0%	24.6%
計(県央のみ)	15.7%	11.5%	14.5%

○乳がん(マンモグラフィ)(40~69歳)

市町村名	R 1年度	R 2年度	R 3年度
茨城県	17.5%	14.8%	14.7%
水戸市	8.0%	10.7%	12.9%
笠間市	15.6%	13.0%	11.4%
ひたちなか市	14.9%	13.5%	10.7%
那珂市	19.7%	14.2%	13.1%
小美玉市	10.9%	7.6%	16.7%
茨城町	16.9%	14.4%	21.4%
大洗町	17.7%	15.9%	13.3%
城里町	19.7%	18.1%	13.6%
東海村	26.2%	28.0%	25.3%
計(県央のみ)	13.3%	12.9%	13.5%

○子宮頸がん(細胞診)(20~69歳)

市町村名	R 1年度	R 2年度	R 3年度
茨城県	15.1%	14.3%	13.6%
水戸市	5.6%	5.6%	5.1%
笠間市	13.2%	13.4%	11.1%
ひたちなか市	11.4%	11.0%	10.7%
那珂市	15.6%	13.1%	12.2%
小美玉市	2.0%	2.3%	2.6%
茨城町	15.8%	14.1%	18.5%
大洗町	17.0%	15.4%	14.2%
城里町	17.2%	16.0%	14.0%
東海村	33.7%	36.1%	31.5%
計(県央のみ)	10.4%	10.2%	9.5%

出典：茨城県保健医療部健康推進課 市町村の住民検診におけるがん検診の受診率

・・・茨城県の数値より低い

(6) 特定健康診査受診率に関する状況

県央地域の特定健診受診率は、茨城県と比べ、やや低い傾向にある。

〈表5〉 県央地域における特定健康診査・特定保健指導実施状況（国民健康保険）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
茨城県	36.9%	38.0%	38.6%	26.3%	33.5%
水戸市	26.9%	28.7%	29.4%	19.9%	23.4%
笠間市	39.2%	41.9%	42.6%	22.7%	37.2%
ひたちなか市	36.1%	34.9%	34.8%	23.5%	29.2%
那珂市	42.3%	42.5%	43.1%	26.8%	35.0%
小美玉市	39.1%	39.4%	42.6%	32.1%	34.4%
茨城町	36.8%	38.6%	39.3%	26.5%	35.0%
大洗町	34.3%	33.9%	35.3%	24.0%	31.3%
城里町	52.3%	52.8%	56.7%	42.8%	49.1%
東海村	50.3%	57.0%	55.3%	43.0%	49.6%
計（県央のみ）	35.1%	36.3%	37.1%	24.8%	31.0%

出典：厚生労働省 特定健診・保健指導実施状況（保険者別）

■■■■ ■■■ 茨城県の数値より低い